第七回 主夫 ヨシ。さんの

PaPaLife!!

北 佳弘（よしひろ）さん

2009 年から専業主夫の２児のパパ。ファザーリング・ジャパン中国副代表理事を努め、2012 年に「PaPaLife 研究所」を開業。“専業主夫” という新しい生活スタイルにより気付いた、育児の「喜び」「感動」「難しさ」などを、 新しい視点で伝える父親支援活動を行っています。講演会や講座を通し、男性の育児・家事参画を応援します。

PaPaLife 研究所
http://papalife.jp/
パパサークルHP
http://papalife.jp/papacircle.html
ヨシ。さんブログ
http://ameblo.jp/shuhupapa/

ミッション Club I am a Father「第 3 回逃走中ごっこ！」

4/29　大朝ふれあいの森（大朝運動公園）
逃走者・子どもの人数：午前午後 各 96 名程
主催：PaPaLife 研究所　パパサークル Club I am a Father
共催：わさまち実行委員会
協賛：株式会社やま磯
協力：ひろしまアウトドアサークルハンター×キッズ
ゆめのたね広島
ひろしまジン大学公式サークル パパレモン
NPO 法人ファザーリング・ジャパン中国支部

“ミッション”はきちんと覚えたかな？

昨年の夏、秋とこれまで２回開催してきた「逃走中ごっこ！」。小さい子どもから小学生まで楽しめる本企画。大朝ふれあいの森での開催となった今回は、逃走者の子どもたち、スタッフなど含め、約 200 名の参加となりました。３回目の今回は、北広島町大朝で毎年行われる、大朝の食や文化、歴史が一堂に会するイベント「わさまち」との同時開催。「逃走中ごっこ！」の事前応募者は、広島市内在住の方たちがほとんど。中には北広島町に初めて来たという方たちも多くいらっしゃったようで、県北ならではの豊な自然、人の温かさなどを存分に味わっていただきました。そして、午後の当日受付には北広島町の子どもたちもたくさん参加してくれました。子どもたちも他地域の交流を楽しんでいた様子でした。

一斉に駆け出す子どもたち

今回も子どもたちだけでなく、保護者の方たちにも大変好評でした。自然豊かで広々とした会場で、“逃げ切って誇らしそうな顔”、“捕まって悔しがり泣き出してしまった子”、さまざまな子どもの表情がありました。でも、その表情・感情はどれも本気。テレビゲームみたいに、「リセット機能」がない本気の遊びを、大人も子どもも精いっぱい楽しみました。
レポートサイトもぜひご覧ください
→ http://papalife.jp/tousou3.html

捕まっちゃた！　悔しい…!!

「わさまち」の様子

ヨシ。さんオススメ！　おでかけスポット

サントピア岡山総社 レジャープールウォーターパーク WAPS

今回ご紹介するのは、「サントピア岡山総社」内の「レジャープールウォーターパーク WAPS」。県下最大級のレジャープールは、小さい子どもから大人まで楽しめる、さまざまなアトラクションが魅力です。特に流水プールの４種のスライダーは、それぞれ異なった特徴を持ち、スリルと楽しさ満載。小学生以下でも利用できるものもあるので、身長制限などをよく見てチャレンジしてください。

幼児にオススメなのは「親水（しんすい）公園」。たくさんの遊具やすべり台など、小学校低学年まで楽しめるキッズプールです。プールシーズンではない季節でも、一部の遊具が楽しめる公園となっています。

屋外には無料テントもあります

「サントピア岡山総社」には、子連れにやさしいサービスも多数用意されているそうです。また、周辺には「倉敷美観地区」「蒜山高原」「おもちゃ王国」など観光スポットもたくさんあるので、夏の思い出づくりに泊まりがけで出かけてみるのもいいかもしれません。

Information

サントピア岡山総社　レジャープールウォーターパーク WAPS

所 在 地：岡山県総社市秦 1215
電　　話：0120-310-126
時　　間：10：00～17：00
料　　金：大人 1,800 円・中高生 1,500 円・3 歳～小学生 900 円・シニア 900 円
アクセス：倉敷 IC より約 20 分　岡山総社 IC より約 20 分
駐 車 場：約 1,000 台・無料

Fun パパの 教えてヨシ。さん!!

Q 娘は５カ月になります。奥さんは家事に育児と本当に忙しそうなので、私も家事を積極的に手伝うようにしています。しかし、私のスキルがないのか、がんばればがんばるほど奥さんにしかられます。「ホコリが残っている！」「おいしくない！」などと辛口コメントばかり。「あなたはじっとしておいて!!」という言葉の通り、黙っておく方がいいのでしょうか？私はそうとは思わないのですが…。

A 役割分担の話し合いが大切！
まずは互いに尊重できる関係づくりから

今までは「ママが中心の家事」。子どもが産まれたので「パパがあれこれ手伝う家事」だと、勝手が異なるので、どうしてもママは戸惑ってしまいます。しかし、そんな状況だからこそ、パパが行動を起こさないと、“ママに任せっぱなし”の状況からはなかなか抜け出せません。ママが現状を「こんなものか」と割り切ったとしても、“何もしてくれないこと”に対する不満がどんどん増殖していくかもしれません。

例えば、５カ月のお子さんが休日のお昼寝中に、夫婦で一緒に家事をこなしてみたり、話し合いをしてみると良いと思います。掃除、洗濯、料理などそれぞれ向き不向きも当然ありますし、いきなりすべてを「ママと同じレベル」で行うのはなかなか難しいものです。「これだけはパパに任せて！」と言える家事を一つ、また一つ増やし、それを得意分野として磨いてみてはいかがでしょうか。また、互いに担当する物事のやり方には文句を言わないなど、妥協点を探りつつ、新しい家事のルールを築き上げていくことが大切だと思います。